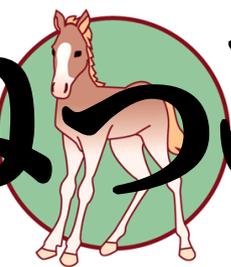


とねっこ



■ 学校教育目標

『自ら・共に拓く堺小っ子』

- 進んで考える子
- 思いやりのある子
- 心と体をきたえる子

発行日：令和4年11月4日

粘り強く学び続ける子に 生活科を通して おもちゃフェスティバル



遊び方の説明をする子。それを真剣に聞く子。



体験したお店の評価をする子



各自メモしたことや自分の店の改善点についての交流する子供たち

11月に入り、木々が鮮やかに色づく季節となりました。

本校では10月27日(木)に、『校内授業公開研修会兼管内初任段階教員(2年次)研修会』を実施しました。学校便りでもお伝えしたように、公開したのは2-1の『生活科「うごく うごく わたしの おもちゃ～1年生とおもちゃフェスティバルをしよう～』でした。講師に北海道

教育庁日高教育局 堀義務教育指導班主査や浦河町教育委員会 橋指導主事をお迎えし、本校職員をはじめ、管内の初任段階2年次4名の先生方が参観しました。1年生に楽しんでもらうためのおもちゃフェスティバルの開催に向けて、本時では、お互いのグループのお店を訪問し合い、おもちゃの遊び方や説明の仕方など、自分たちのグループに生かせることを交流するという内容でした。課題「他のお店の遊びを体験して、自分のお店に生かせることを見つけよう」をしっかりと意識していたので、ただ、楽しかったではなく、子供たちは、遊びを体験しながら良いところを見つけてはメモしたり、それらメモしたことをグループで交流し、自分たちのお店に生かせることを確認したりしていました。また、この時間の活動では、国語「声のものさしを使おう」「おもちゃの説明書を書こう」、図工「パタパタストロー」で育成した資質・能力が活用・発揮されていました。いわゆる、教科等で学んだことを生活科で活用する、**教科等横断的な学習**となっていました。

本校の研究主題は『資質・能力を育成する教科等横断的な学習の実現～生活科・総合的な学習の時間、自立活動において粘り強く学び続ける子供の育成～』で、下記の4つの視点を連動させながら、**探究的な学習・体験的な学習**を深めていきたいと考えているところです。

今後は、今月17日に4-1の総合的な学習の時間の公開、12月13日(火)には、『堺小実践発表会』にて、管内の先生方も参観する中、5-1の総合的な学習の時間を公開し、講師の助言をはじめ、町内外の先生方のご意見をいただきながら、より一層、授業改善を図り、探究的な学習・体験的な学習を深化させていきたいと考えています。

探究的な学習・体験的な学習(主体的・対話的で深い学びを通して粘り強く学び続ける子供の姿)に向けての4つのポイント

- ①学習課題(めあて)の設定と解決の見通し
- ②個別最適な学び
- ③協働的な学び
- ④まとめと振り返り